

## 〈解答〉

- ① 1 記号：ア 山脈名：ヒマラヤ山脈（両解）  
2 イ  
3 ヒンドゥー  
4 フィヨルド（カタカナ指定）  
5 エ

配点 各2点 10点満点

## 〈解説〉

- ① 1 ヒマラヤ山脈は、中国とインドの間にある世界で最も高い山脈で、最高峰のエベレスト山をはじめとして、8000m級の山々が連なる。イはアルプス山脈で、スイスを中心として、東西に連なる高く険しい山脈である。
- 2 3図は、⑥のスペインのバルセロナの雨温図で、年降水量が少ないものの、夏に雨が少なく乾燥し、冬に雨が降るといった特徴があるため、地中海性気候である。スペインの多くの住居は、夏の強い日ざしをさえぎるために窓が小さく、壁も厚くつくられている。強い日ざしをはねかえして家の中をすずしく保つために、壁を石灰で白く塗った家もある。④はタイのバンコクで、熱帯のサバナ気候である。また、①は熱帯、③は冷帯〔亜寒帯〕の地域で見られる伝統的な住居である。
- 3 A国のインドで80%以上の人々が信仰しているヒンドゥー教は、多神教で、牛を神聖な動物としており、ガンジス川も崇拝の対象で、ヒンドゥー教徒が沐浴（水で身体を清めること）をする姿が見られる。
- 4 フィヨルドは、氷河によって削られてできた谷が海に沈み、海水が入りこんだ入り江で、両岸は絶壁となっており、陸地の奥深くまで入り江が入りこんでいる。Xのスカンディナビア半島の西岸に見られるものが有名である。
- 5 B国はドイツで、小麦やライ麦といった穀物栽培と、豚や牛を中心とした家畜の飼育を組み合わせた混合農業が行われてきた。